

面積:225,171平方キロ
(日本の本州とほぼ同じ)(全米50州中12位)
人口:5,639,632人(2019年国勢調査概算)(全米22位)
(白人79.5%,黒人6.8%,ヒスパニック5.5%,アジア5.1%)
(2019年国勢調査概算)
州都: St. Paul 愛称:Land of 10,000 Lakes

ミネソタ州概要



令和2年7月現在
在シカゴ総領事館

政治	経済	日本との関係
<p>【州政治】</p> <p>1. 知事:ティム・ウォルズ (Tim Walz)(民) 2019年1月就任, 現在1期目</p> <p>2. 議会構成: 二院制 上院議席数 67 民主党 32 共和党 35 下院議席数134 民主党 75 共和党 59</p> <p>3. 内政状況: 1976年来大統領選挙では民主党候補を選出している。州の高位公選職の多くを民主党(民主農民労働党※)が占めるなど, 同州は伝統的にリベラルかつポピュリストの傾向が強いとされる。昨今は, 都市圏と農村区でのイデオロギー格差が顕著であり, 2018年連邦下院選挙では, その地域性を反映するかの如く2議席で民主党と共和党が入れ替わった。知事は民主党が2011年1月に20年ぶりに取り戻して以来, デイトン前知事の引退後も穏健民主党のウォルズ知事が選ばれた。 2018年に3期目再選を果たしたクロブシャー連邦上院議員(民)は, 民主党大統領候補に出馬したが, スーパーチューズデー前に撤退。 州内には, 70年代半ばに難民として移住してきたモン族系及び90年代に移住してきたソマリア系などがコミュニティを形成。現在モン系6人が州議会議員を務める。2018年選挙では, オマール議員が全米初のソマリア系連邦下院議員となった。モンデール元副大統領・元駐日大使が州内在住。 ※民主農民労働党(Democratic Farmer-Labor Party)は, 1944に民主党と農民労働党が合併して誕生。系列である「民主党」と便宜上明記してあるが, ミネソタ州選出議員は皆DFL党に所属。</p> <p>【連邦政治】</p> <p>1. 大統領選挙人数: 10 名 2. 2016年大統領選挙における勝利政党: 民主党(得票率46.8%) 3. 連邦上院議員(議席数2名) エイミー・クロブシャー (Amy Klobuchar)(民) ティナ・スミス (Tina Smith)(民) 4. 連邦下院議員(議席数8名) 民主党5名 共和党3名</p>	<p>【州経済】</p> <p>1. 主要産業 ・農業:穀物(トウモロコシ, 大豆), 畜産(豚) ・工業:医療機器, 電子機器, 商業</p> <p>2. GDP:3,809億ドル(2019年)</p> <p>3. 1人当たり個人所得:59,683ドル(2019年)</p> <p>4. 失業率: 8.6%(2020年6月)</p> <p>5. 輸出額:22,202百万ドル(2019年)</p> <p>6. 輸出品目:電算電子機器、一般機械、その他製造品、化学製品、輸送用機器、</p> <p>7. 輸出相手国(2019年): カナダ(21%), メキシコ(11%), 中国(10%), 日本(7%), ドイツ(5%)</p> <p>8. 財政:(2018年度) (出典:U.S. Census Bureau) 歳入:56,307百万ドル 歳出:49,585百万ドル 債務残高:16,600百万ドル</p> <p>9. 経済状況 ミネソタ州は, ツインシティと呼ばれるミネアポリスとセントポールを中心に商業が発展しており, 大手小売のターゲット, 家電大手のベストバイ, 3M等が本部を置いているほか, メイヨークリニックがあり, 医療機器産業が集積。トウモロコシ, 大豆ともに全米有数の生産量を誇り, 豚肉生産も多く, 主要農業州の一角を形成。バイオエタノール政策にも力を入れており, E85のガソリンスタンド数は全米で最大。</p> <p>【対日経済】</p> <p>1. 対日輸入額:398百万ドル(2019年) 2. 対日輸出額:1,530百万ドル(2019年) 3. 主要輸出品目:電算電子機器, その他製造品, 一般機械, 加工食品, 鉱物・鉱石 4. 日系企業の進出数/雇用数:約100事業所/約6,300人(2018年) 5. 州駐日リエゾンオフィスあり(東京都), 日米中西部会には2002年脱退後, 2007年に復帰。</p>	<p>【要人往来】</p> <p>(往)10年9月, ポーレンティ知事が貿易ミッションを率いて訪日。11年9月, デイトン知事, 19年9月ウォルツ知事が日米中西部会出席のため訪日。 (来)01年4月, 常陸宮同妃両殿下がミネソタ大学名誉学位授与式ご出席等のため御来訪。15年には長崎とセントポール市の姉妹都市提携が60周年の佳節を迎え, 市長を含む両市市民が相互に訪問, 交流を深めた。</p> <p>【文化, 広報関係】</p> <p>ミネソタ日米協会が活発に活動(1972年創設)。同協会が中心となってセントポールでは毎年8月, 灯籠祭が行われているほか, ミネアポリスでは毎年, モンデール賞・奨学金授与式が開催されている。 ミネアポリス美術館の日本美術コレクションは全米屈指で, 特に浮世絵コレクションが有名。 日米桜寄贈100周年記念事業ではセントポール市とウィノナ市に苗木を寄贈。</p> <p>【在留邦人数(2019年10月1日現在)】 3,576人</p> <p>【日本人学校・補習校数】 補習校2校(リッチフィールド, セントポール)</p> <p>【姉妹都市関係(10)】</p> <p>長崎市(長崎県)ーセントポール 茨木市(大阪府)ーミネアポリス 湯浅町(和歌山県)ーケンブリッジ 湯浅町(和歌山県)ーブラハム いすみ市(旧大原町)(千葉県)ーダルース 秋田市(旧雄和町)(秋田県)ーセントクラウド 和泉市(大阪府)ーブルーミントン 伊方町(愛媛県)ーレッド・ウィング 美里町(旧小牛田町)(宮城県)ーウィノナ 白河市(旧大信村)(福島県)ーアノーカ</p> <p>【名誉領事】 リチャード・E・スタール(ミネアポリス)</p>